舞鶴工業高等専門学校	開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	建築論Ⅰ

科目基礎情報

科目番号	0074	科目区分	専門 / 選択
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	電子制御工学科	対象学年	4
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	教科書：宮元健次著『図説日本建築のみかた』学芸出版社　２００１年　教材　：宮元健次著『図説日本建築のみかた』学芸出版社　２００１年		
担当教員	宮元 健次		

到達目標

①日本建築史について理解できる。
②西洋建築史について理解できる。
③近代建築史について理解できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	日本建築史について理解し概略を説明できる	日本建築史について理解できる	日本建築史について理解できない
評価項目2	西洋建築史について理解し概略を説明できる	西洋建築史について理解できる	西洋建築史について理解できない
評価項目3	近代建築史について理解し概略を説明できる	近代建築史について理解できる	近代建築史について理解できない

学科の到達目標項目との関係

(B)

教育方法等

概要	日本建築及び西洋建築について，それぞれの成り立ちと発展過程特質などについて解説する。 また近代建築の潮流及び，現代建築への発展過程と特質などについても解説する。 １，Skills for characteristic of Japanese and Western architecture. ２，Skills for characteristic of modern architecture.
授業の進め方・方法	テキストを中心にスライド，ビデオなどを用いて視覚的に解説する。 また，毎回ミニテストを行う。
注意点	成績は中間試験及び期末試験の平均点で評価する。 「神社」,「寺院」,「住宅」,「茶室」,「城郭」,「ディティール」,「エジプト・ギリシャ・ローマ」,「ゴシック・ルネサンス」,「バロック・ロココ・ネオクラシシズム」,「モダニズム」,「ポストモダニズム」など，上記の到達目標における各項目の歴史的基礎を理解していることを評価基準とする。 ・研 究 室　A棟2階（A-218） ・内線電話　8982 ・e-mail:　miyamotoアットマークmaizuru-ct.ac.jp（アットマークは@に変えること） 【学生へのメッセージ】 建築設計における造形に応用されることが望まれる。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	シラバスの説明，建築史の全体的流れについて概説	①日本建築史について理解できる
		2週	日本建築史①神社	①日本建築史について理解できる
		3週	日本建築史②寺院	①日本建築史について理解できる
		4週	日本建築史③住宅	①日本建築史について理解できる
		5週	日本建築史④茶室	①日本建築史について理解できる
		6週	日本建築史⑤城郭	①日本建築史について理解できる
		7週	日本建築史⑥デティール	①日本建築史について理解できる
		8週	中間試験	
	2ndQ	9週	前期中間試験の解答解説	②西洋建築史について理解できる
		10週	西洋建築史①エジプト・ギリシャ・ローマ	②西洋建築史について理解できる
		11週	西洋建築史②ビサンチン・イスラム・ロマネスク	②西洋建築史について理解できる
		12週	西洋建築史③ゴシック・ルネサンス	②西洋建築史について理解できる
		13週	西洋建築史④バロック・ロココ・ネオクラシシズム	③近代建築史について理解でき
		14週	近代建築史①モダニズム	③近代建築史について理解でき
		15週	近代建築史②ポストモダニズム	③近代建築史について理解でき
		16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	計画・歴史	古代(例えば、エジプト、オリエント、エーゲ海、ギリシャ、ローマなど)の特徴について説明できる。	1	前9,前10
				中世(例えば、ビザンチン、イスラム、ロマネスク、ゴシックなど)の特徴について説明できる。	1	前11
				近世(例えば、ルネサンス、マニエリスム、バロック、ロココなど)の特徴について説明できる。	1	前13
				原始(例えば、竪穴住居、高床建築、集落など)の特徴について説明できる。	1	前1,前7
				古代(例えば、住宅建築、寝殿造、都市計画、神社建築、寺院建築など)の特徴について説明できる。	1	前2,前3,前4,前7

				中世(例えば、住宅建築、神社建築、寺院建築(大仏様、禅宗様、折衷様など))の特徴について説明できる。	1	前2,前3,前4,前7
				近世(例えば、住宅建築、書院造、数寄屋風書院、町屋、農家、茶室、霊廟、社寺建築、城郭)の特徴について説明できる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	80	0	0	0	20	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0